

# 十八號線濱田國道改良工事に就て

柳 樂 義 雄

昭和十五年明治節の佳節を卜し誕生した新興都市濱田市は、島根縣の中央に位し躍進的水産商工都市にして市の西に接する長濱町を含める大濱田港は日本海沿岸中境、下關兩港の略中間に在り水深く地形灣入して自然の良港を形成し其の背後には廣汎なる工業の適地を有し、既に明年度より三百萬圓を投じ築港計畫も實現せむとする秋、之に連絡する十八號國道の使命は極めて重大なるものがある。然るに現在道は此の濱田、長濱間約三軒の間に於て急阪屈曲連續し有効幅員又四・五米に過ぎず鐵道との平面交叉亦一ヶ所あり、爲に之が改良を國直轄工事として施行方、縣は固より地元濱田市よりも熱誠陳情せし結果、内務省に於ては濱田、長濱間〇〇〇〇米を有効幅員〇、〇米砂利道として工費約三十七萬圓を以て本年度より直轄工事として着工せらるゝこととなり、其の起工式を秋晴れの十月五日濱田市原井國民學校に於て舉行せられた。内務省大阪出張所より佐藤所長を初め成松濱田國道改良事務所長、縣より知事代理田口經濟部長、猿谷土木課長、縣會議長山

崎濱田市長、及侯市會議長等二百名に近き來賓を迎へて嚴肅裡に式を舉げた。左に佐藤大阪土木出張所長の式辭を記し、本工事が恙なく進捗し完成の日の一日も速かならむことを念願するものである。(本誌口繪参照)

## 式 辭

時恰モ孟秋ノ好季ニ際シ爰ニ本日ヲトシ關係官民諸賢ノ來臨ヲ得テ十八號線濱田國道改良工事地鎮祭ヲ舉行スルヲ得タルハ洵ニ欣快トスル所ナリ

國道十八號線ハ山陰道ノ一大幹線ニシテ地方産業文化ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スル重要道路タリ、而カモ日本海沿岸ハ今ヤ日滿支ヲ通スル廣域經濟圈ノ一環トシテ海陸連絡及興亞産業ニ飛躍セントシ國防上亦將ニ重要性ヲ加フルニ至ル

殊ニ濱田市ハ後方ニ廣島關門等ノ樞要地帯ニ近接スル地理的優位ヲ占メ水深キ天然ノ良港タル長濱港ト背後廣汎ナル工業適地トヲ有シ天恵地利ニ浴セリト雖モ未タ其施設全カラズ經濟的活動ヲ

阻止シツ、アルハ洵ニ遺憾トスル所ナリ

玆ニ於テ政府ハ先ツ其ノ一端トシテ濱田港ヨリ長濱港ニ至ル國道ヲ本年度ヨリ國直轄工事トシテ着手シ目下銳意進捗中ナリ、本道路ハ海岸ニ沿ヒ幅員七米五ヲ有スル所謂近代式道路ヲ新設スルモノニシテ本事業完成ノ曉ハ名實共ニ濱田、長濱ヲ密接セシメ、地方産業ノ發展ニ資スルハ勿論地方勝景道路トシテ觀光ニ寄與スルトコロアルヘキヲ信ス、尙今後進テ長濱港ノ修築濱田、廣島間道路ノ改良等時勢ニ即應シテ急速改善ヲ要スル幾多ノ事業アリト信ス、何卒地方官民各位ノ熱誠ナル一致協力ヲ得尙天地神明ノ加護ニ恃願シテ本工事ノ目出度キ竣功ノ喜ヒヲ迎フルト共ニ更ニ進シテ大濱田將來ノ爲有終ノ美ヲ濟サムコトヲ念願シテ已マサル次第ナリ

一言所懐ヲ述ヘテ式辭トス

昭和十六年十月五日

内務省大阪土木出張所長 佐藤利恭

× × × × × × × ×

若葉吟社詠草

初日今心靜かに迎えけり  
初風や無敵の戦果語りつぎ  
雪嶺を背に里晴れや初詣で  
雪解川落葉の中に堰かれけり  
戦地より賀状届きぬ今朝の雪  
乗初や萬歳も居る一番船  
大いなる希望に明けてお虎日  
征ける子の武運祈りぬ初詣  
生き甲斐のある御民われ四方拜  
初風や朝陽をうけて軍さ艦

霞 水 同 正 一 同 淺 茅 同 落 邨 同 靜 風 同

新年の鹵簿拜しけり松陽晴れ  
富士の雪染めわたりたる初日哉  
初風の巖嚙む濤もなかりけり  
鳩の立つ蕨仰ぐや初御空  
杉の凍て影踏み詣でけり初社

野狐禪 同 同 同 同